

連結貸借対照表

(平成21年3月31日現在)

(単位：千円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
I 流動資産	8,660,974	I 流動負債	2,447,925
現金及び預金	1,753,039	支払手形及び営業未払金	563,454
受取手形及び営業未収入金	193,442	前受金	502,758
有価証券	6,517,016	1年内返済予定の長期借入金	380,200
たな卸資産	28,409	未払法人税等	458,318
繰延税金資産	100,295	賞与引当金	57,281
その他	68,770	未払金	408,071
		預り金	10,416
		その他	67,424
II 固定資産	29,932,787	II 固定負債	6,954,747
有形固定資産	28,891,044	長期借入金	1,446,900
建物及び構築物	21,545,277	退職給付引当金	457,326
機械装置及び運搬具	19,687	役員退職慰労引当金	186,387
土地	7,221,867	長期預り敷金保証金	4,864,134
その他	104,211		
無形固定資産	36,203		
投資その他の資産	1,005,539	負債合計	9,402,673
投資有価証券	135,103		
長期貸付金	292,408	純資産の部	
繰延税金資産	370,265	I 株主資本	29,190,552
その他	295,463	資本金	4,000,000
貸倒引当金	△ 87,700	利益剰余金	25,672,952
		自己株式	△ 482,400
		II 評価・換算差額等	535
		その他有価証券評価差額金	535
		純資産合計	29,191,088
資産合計	38,593,761	負債純資産合計	38,593,761

(注) 千円未満を切り捨てて表示しております。

連結損益計算書

(自平成20年4月1日
至平成21年3月31日)

(単位：千円)

科 目	金	額
I 売上高		10,322,747
II 売上原価		6,789,533
売上総利益		3,533,213
III 販売費及び一般管理費		900,827
営業利益		2,632,386
IV 営業外収益		
受取利息	7,565	
有価証券利息	37,735	
受取配当金	4,233	
廃品売却益	25,113	
解約違約金	9,352	
その他	4,049	88,051
V 営業外費用		
支払利息	39,839	
固定資産除却損	14,762	
その他	568	55,170
経常利益		2,665,266
税金等調整前当期純利益		2,665,266
法人税、住民税及び事業税	1,088,483	
法人税等調整額	31,776	1,120,259
当期純利益		1,545,007

(注)千円未満を切り捨てて表示しております。

連結株主資本等変動計算書

(自 平成20年4月1日
至 平成21年3月31日)

(単位：千円)

	株 主 資 本			
	資 本 金	利益剰余金	自 己 株 式	株主資本合計
平成20年3月31日残高	4,000,000	24,579,137	△ 482,400	28,096,737
連結会計年度中の変動額				
剰余金の配当		△ 579,900		△ 579,900
当期純利益		1,545,007		1,545,007
連結初年度に伴う剰余金増加額		128,708		128,708
株主資本以外の項目の 連結会計年度中の変動額（純額）				
連結会計年度中の変動額合計	-	1,093,815	-	1,093,815
平成21年3月31日残高	4,000,000	25,672,952	△ 482,400	29,190,552

(単位：千円)

	評 価 ・ 換 算 差 額 等		純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	評価・換算差額等 合計	
平成20年3月31日残高	3,085	3,085	28,099,822
連結会計年度中の変動額			
剰余金の配当			△ 579,900
当期純利益			1,545,007
連結初年度に伴う剰余金増加額			128,708
株主資本以外の項目の 連結会計年度中の変動額（純額）	△ 2,549	△ 2,549	△ 2,549
連結会計年度中の変動額合計	△ 2,549	△ 2,549	1,091,266
平成21年3月31日残高	535	535	29,191,088

(注) 千円未満を切り捨てて表示しております。

連 結 注 記 表

(連結計算書類作成のための基本となる重要な事項に関する注記)

1. 連結の範囲に関する事項

①連結子会社の数 1社

②連結子会社の名称 株式会社テーアールシーサービス

前会計年度において非連結子会社であった株式会社テーアールシーサービスは、重要性が増したことにより当連結会計年度より連結の範囲に含めておりません。

2. 持分法の適用に関する事項

該当事項はありません。

3. 連結子会社の事業年度等に関する事項

連結子会社の決算日は、連結決算日と一致しております。

4. 会計処理基準に関する事項

(イ)重要な資産の評価基準及び評価方法

(1)有価証券の評価基準及び評価方法

①満期保有目的の債券……償却原価法（定額法）

②その他有価証券……時価のあるもの…連結決算末日の市場価格等に基づく時価法（評価差額は、全部純資産直入法により処理し、売却原価は、移動平均法により算定しております。）

……時価のないもの…移動平均法による原価法

(2)たな卸資産の評価基準及び評価方法

評価基準は原価法（収益性の低下による簿価切下げの方法）によっております。評価方法は主に先入先出法によっております。

(ロ)重要な減価償却資産の減価償却の方法

①有形固定資産……定率法によっております。ただし、平成10年4月1日以降取得した建物（建物附属設備は除く）については、定額法によっております。なお、耐用年数は以下のとおりであります。

建物 …… 31～50年

建物附属設備 …… 6～18年

②無形固定資産……定額法によっております。ただし、ソフトウェア（自社利用分）については社内における利用可能期間（5年）に基づく定額法によっております。

(ハ)重要な引当金の計上基準

- ①貸倒引当金……債権の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を検討し、回収不能見込額を計上しております。
- ②賞与引当金……従業員に対する賞与の支給に備えて、支給見込額に基づき計上しております。
- ③退職給付引当金……従業員の退職給付に備えるため、当連結会計年度末における退職給付債務及び年金資産の見込額に基づき計上しております。
- ④役員退職慰労引当金……当社の役員の退職慰労金の支給に備えるため、内規に基づく当連結会計年度末要支給額を計上しております。

(ニ)重要なヘッジ会計の方法

- ①ヘッジ会計の方法……金利キャップについては、特例処理の要件を満たしておりますので、特例処理を採用しております。
- ②ヘッジ手段とヘッジ対象…… (ヘッジ手段)
金利キャップ
(ヘッジ対象)
借入金の利息
- ③ヘッジ方針……将来の金利上昇が支払利息に与える影響を一定の範囲に限定するために金利キャップ取引を利用しており、投機目的の取引は行わない方針であります。
- ④ヘッジ有効性評価の方法……金利キャップは特例処理の要件を満たしているため、有効性の評価を省略しております。

(ホ)その他連結計算書類作成のための基本となる重要な事項

消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税抜方式によっております。

(連結貸借対照表に関する注記)

1. 有形固定資産の減価償却累計額	57,376,000千円
2. 担保に供している資産	3,398,369千円
土地	
担保に係る債務	長期借入金
	1,393,400千円
	1年内返済予定の長期借入金
	271,600千円
3. 有形固定資産の圧縮記帳(直接減額)	144,822千円

(連結株主資本等変動計算書に関する注記)

1. 発行済株式の種類及び総数並びに自己株式の種類及び株式数

株式の種類	前連結会計年度末	増加	減少	当連結会計年度末
発行済株式				
普通株式	8,000千株	—	—	8,000千株
自己株式				
普通株式	268千株	—	—	268千株

2. 配当に関する事項

①配当金支払額

平成20年6月25日開催の定時株式総会において、次のとおり決議しております。

株式の種類	普通株式
配当金の総額	579,900千円
1株当たり配当額	75円
基準日	平成20年3月31日
効力発生日	平成20年6月26日

②基準日が当連結会計年度に属する配当のうち、配当の効力発生日が翌連結会計年度となるもの

平成21年6月24日開催の定時株主総会において、次のとおり決議を予定しております。

株式の種類	普通株式
配当金の総額	579,900千円
配当の原資	利益剰余金
1株当たり配当額	75円
基準日	平成21年3月31日
効力発生日	平成21年6月25日

(1株当たり情報に関する注記)

1. 1株当たり純資産額	3,775円36銭
2. 1株当たり当期純利益額	199円81銭

(重要な後発事象に関する注記)

該当事項はありません。